

Yokohama Medtech Startups Pitch Event をオンラインで開催

～米国での資金調達・ビジネスマッチングへつなげます～

令和2年7月に国から選定された「グローバル拠点都市」を契機として、米国での資金調達・事業提携に向けたビジネスマッチングを目的に市内企業が登壇するオンラインピッチイベントを開催します。また、この機会を捉え、米国企業に向けて横浜のビジネス環境のアピールを行います。

今回登壇する4社は、横浜市と(公財)木原記念横浜生命科学振興財団(以下「木原財団」という。)が米国サンディエゴの起業家支援組織「CONNECT with San Diego Venture Group(以下「CONNECT」という。)」と連携して実施しているライフサイエンス分野の中小・ベンチャー企業のピッチスキルを磨くアクセラレーションプログラム「The Springboard™ Program in Yokohama」の修了企業です。約3か月の木原財団による伴走支援とCONNECTによる最強のメンタリングの成果を、ぜひご覧ください。

なお、今回のイベントは、横浜市米州事務所のコーディネートにより、米国カリフォルニアのバイオベンチャー支援機関であるCalifornia Life Sciences Institute(以下「CLSI」という。)及びIkigai Acceleratorとの連携のもと実現することとなりました。

イベント概要

- 開催日時：令和3年1月7日(木) 9:00～11:00
- 開催形式：オンライン開催 (Zoomビデオウェビナー)
- 主催：横浜市
- 共催：CLSI、Ikigai Accelerator
- 後援：JETRO 横浜
- 参加費：無料(事前申込制)
- 使用言語：英語
- スケジュール

9:00～	経済産業省挨拶 横浜市プレゼンテーション(横浜市米州事務所 Nikolai Muth)
9:10～	The Springboard™ Program in Yokohama 修了企業4社によるピッチと質疑応答 ※質疑応答には、3名のパネリストによるコメントと、視聴者からの質疑応答を含めます。 ①アナウト株式会社 ②メディギア・インターナショナル株式会社 ③リスク計測テクノロジーズ株式会社 ④株式会社 CROSS SYNC
11:00	閉会

申込方法

下記入力フォームからお申込みください。（事前申込制）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_r-NIZ45nSvewYva1F-3fnA



【参加申込の流れ】

参加申込フォームに入力後、参加承諾メールが届きます。その後、イベント前日までに、視聴用 URL を含む詳細をメールにてお送りします。当日は視聴用 URL からご参加ください。

【注意事項】

- ・スマートフォン、タブレットからご参加される方は、事前に zoom アプリ（無料）のダウンロードをお願いします。
- ・オンライン配信サービスの接続や設定についてはサポート対象外となります。
- ・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。
- ・配信内容の録画・録音はご遠慮ください。

【申込締切】 令和3年1月5日（火）

“The Springboard™ Program in Yokohama” 参加企業4社

	企業	事業
1	アナウト株式会社 (中区) 代表取締役 小林 直氏 https://anaut-surg.com/ 	患者への安全な手術の提供を目指した、外科医の知識を人工知能（AI）に学習させ、手術中の人体構造を認識する手術地図の作成
2	メディギア・インターナショナル株式会社 (緑区) 創業者・代表取締役 田中 武雄氏 https://medigear.co.jp/ 	薬を使わずにがん組織だけを局所的に兵糧攻めする生体代謝性ナノデバイスによる低侵襲療法の開発
3	リスク計測テクノロジーズ株式会社 (中区) 代表取締役 岡崎 貫治氏 https://rimtech.co.jp/ 	声だけ5秒で心の状態を可視化できる「マインドヘルス計測システム」の開発
4	株式会社 <small>クロスシンク</small> CROSS SYNC (金沢区) 最高戦略責任者 南部 雄磨氏 https://cross-sync.co.jp/ 	医療現場におけるデータと機械学習を用いた、情報共有、医療安全、労務効率の改善に資するソリューション iBSEN（イブセン）の提供

【当日の取材対応について】

当日の日本からの配信は、WeWork オーシャンゲートみなとみらい（横浜市西区みなとみらい3-7-1 オーシャンゲートみなとみらい）から行います。取材いただける場合は、経済局産業連携推進課担当課長 石津（045-671-3591）まで1月6日（水）17時までにご連絡ください。

CONNECT with San Diego Venture Group とは

米国サンディエゴのスタートアップコミュニティにおける2大支援機関である「CONNECT」（1985年設立）と「San Diego Venture Group」（1986年設立）が2019年4月に合併。各組織に由来するノウハウと実績、幅広いネットワークにより、優れた企業の創出に向けて、企業の成長・拡大、資金調達を支援するプログラムやイベントを実施し、サンディエゴ地域の起業家やスタートアップ企業の育成を行っています。



California Life Sciences Institute とは

カリフォルニアのライフサイエンス分野のベンチャー支援非営利団体（1990年設立）。米国バイエリアをはじめヨーロッパやアジアのライフサイエンス分野におけるバイオベンチャー企業を対象に、グローバルビジネスにおける教育プログラムを提供しています。



Ikigai Accelerator とは

「日本のエコシステム及び日本発グローバル製品開発の促進」を企業理念に掲げ、米国シリコンバレーで設立された、バイオベンチャー支援企業（2019年設立）です。

共同創業者の持つライフサイエンスのバックグラウンド、人脈やノウハウを活用し、さらにキャピタル部門である G4S Capital を通じた投資支援により、日本発の世界に通じるバイオ産業の発展を支援しています。



横浜市米州事務所について

横浜市が、2018年11月にアメリカ合衆国ニューヨークに開設した海外事務所で、企業誘致や市内企業のビジネス支援、観光などのプロモーション、大学交流の推進などを行っています。

今回のオンラインピッチイベントは、同事務所が、今年6月にオンライン開催された北米最大規模のバイオ産業コンベンション（BIO デジタル）に参加し、米国のライフサイエンス関連企業・団体に向けて、横浜市のライフサイエンス分野の取組を紹介する中で、上記のバイオベンチャー支援機関（CLSI、Ikigai Accelerator）との関係が構築されたことにより、連携して開催することとなりました。

イノベーション都市・横浜について

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー（YOXO）」を旗印として、みなとみらい21地区の

研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP 横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。



お問合せ先

「イベント・プログラム全般に関すること」 経済局産業連携推進課担当課長 石津 雄一郎 Tel : 045-671-3591

「米州事務所のビジネス支援に関すること」 経済局国際ビジネス課長 富岡 典夫 Tel : 045-671-2576

「伴走支援に関すること」（公財）木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 菅原 真一郎 Tel : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。